

IMF が 30 億ドルの経済支援策を提案

エジプト政府は、国際通貨基金(IMF)の 30 億ドル相当のソフトローン(年金利 1.5%、返済期限 5 年(猶予期間 39 カ月))を受理するかについて検討中である。

財務相は先月末、政府が財政赤字削減のために IMF との融資契約について交渉を再開したと発表した。前財務相が 6 月に IMF からの同申し出を拒否しているため状況は困難と予想されており、更に先日エジプト国債は BB-に格下げされている。しかし同申し出の拒否はエジプト経済の潜在力と強固な基盤への強気な自信の表れである。

エジプト政府は 2 週間前、サウジアラビアとアラブ首長国連邦両国政府による総額 50 億ドル以上の財政支援策について会談を行った。その翌週には、アラブ首長国連邦がエジプトへ 30 億ドルの財政支援計画を発表した(現在は支援方法について会談中)。

サウジアラビアは先週、5 億ドル相当のエジプト T-bill の購入、加えて財政支援として 5 億ドルの投資を発表した。また同国は 5 月にも 40 億ドルの支援策を発表しており、その内 5 億ドルは 6 月に助成金として提供された。その後は更にエジプト経済への 15 億ドルの投資を表明している。

カタールもまた財政支援として 5 億ドルの提供を行っており、更に米国大使は先日、21 億 5,000 万ドルの支援に加え、新たに 3 億 3,000 万ドルの追加支援策を発表した。エジプト国際協力省はフランス政府と地下鉄 3・4 号線の建設資金 12 億ユーロの融資に合意している。9 月には IMF と 4 億 3,000 万ドル相当の融資協定が発表され、世界銀行とは農業・鉄道事業のファイナンスに合意した。

欧州復興開発銀行は、エジプト政府に 10 億ドルの融資を行い、中小企業の事業支援として毎月 100 万ドルの支援を行うと発表した。同行は 2015 年までにエジプト、チュニジア、モロッコに総額 25 億ドルの支援を行うとしており、資金提供は来夏に開始される予定である。

エジプト政府は 2013/14 年までに 455 億ドルの資金を必要としており、財政赤字削減に 240 億ドル、投資目的に 215 億ドルを割り当てると発表している。同国の 10/11 年財政赤字は、前年度の 8.1% から GDP 比 9.5%に拡大したが、これは想定範囲内である。更に 10/11 年の総負債額は GDP 比 91.29%の LE1 兆 2,542 億であった。国内総債務は前年度比 17.6%増の GDP 比 76.2%となった。

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。